

# ふれあい

(2026) 令和8年4月



緑鯨城会QRコード

本会は、会員相互の親睦を図り、かつ、生涯学習の一環としての学習活動を推進するとともに、地域活動に貢献することを目的とする

発行 | 名古屋市高年大学鯨城会 緑鯨城会  
名古屋市鯨城学園  
編集 | 緑鯨城会 広報委員会

## 目次

表紙	1
目次 表紙のコメント	2
・ ・ ・ ・ 緑鯨城会役員 1年を振り返って ・ ・ ・ ・	
会長	3
総務委員長	4
行事委員長	5
ボランティア委員長	6
広報委員長	7
マラソン大会ボランティア	8
新海池公園・要池公園ボランティア活動	9
雑巾ボランティア・心の絆創膏	10
39期生地域ミーティング 区会説明会	11
自由投稿 緑友会	12
自由投稿 温故知新まち歩き有松	13
自由投稿 俳句つれづれ	14
ウォーキング同好会	15
緑区地域福祉のつどい・編集後記	16

### ふれあい96号（令和8年7月発行）原稿募集のお知らせ

テーマ：問いません（自由です）地域の紹介・趣味・個人参加活動・行事

旅行の思い出・グルメ・健康法あれこれ・近所の名所等

字数：450文字程度                      短歌・俳句・川柳は2首迄

締め切り：令和8年5月末

95号表紙 写真「アオサギ」27期 国際 磯部 勝

扇川での一枚です。スマホでの撮影で偶然上手く撮れました。

## この1年を振り返って

緑鯨城会会長 34期 地域B 鈴木剛

大きなランドセルを背負った新入学児童の明るい声を耳にする季節となりました。昨年は米をはじめとする物価高騰、トランプ関税による輸出環境の悪化など生活、経済に与える影響など気を揉んだ1年となりました。そして初の女性首相の誕生と年初早々の衆議院選挙で政界が大きく変動し私たちの生活が良くなることに期待したいところです。さて、緑鯨城会の会長を拝命し、戸惑うことも多々ありながらも、役員はじめ会員の皆様方のご支援によりまして会運営をさせていただきました。この1年を二つの出来事で振り返ります。

まずは趣味の作品展です。昨年は30回目を迎える中、出展作品数は200点を超えるなど大いに盛り上がりました。16区の中でも最大級の作品展だと自負しています。絵画、写真、陶芸絞り染めなど11のジャンルに、この日の為に入念に準備された渾身の作品が並び鑑賞する人の目を楽しませていただきました。毎年出展される方は作品練度が上り、日々の精進がうかがえます。今年初参加の方も堂々と出品され来年の作品が今から楽しみです。

一方、作品展開催にあたり多くの役員、サポーターの方々のご協力に改めて感謝申し上げます。作品展は会員200名で作り上げる緑鯨城会の歴史と伝統であります。本年も多くの方の参加、出品を期待します。二つ目は「愛知県ボランティア活動功労者表彰」を緑鯨城会が受賞したことです。この制度は昭和56年に始まり、高齢者・障害者のためのケア、防災、環境美化など多岐にわたるもので昨年度は28団体が受賞されました。緑鯨城会は「永年にわたる公園の清掃活動及び高齢者福祉施設への雑巾寄付」が高く評価されました。会員の皆様による地道な活動の賜物であり、誇りに思います。緑鯨城会は会員相互の親睦並びに地域貢献を標榜しておりますが、まさに趣味の作品展の開催と地道なボランティア活動の推進は諸活動の中心軸にあると考えます。小さなことでも自身ができる範囲で継続していくことが大切です。「チョイボラ」「チョイアート」でも良いではありませんか!? 皆で取り組めば仲間もどんどん増えていくことでしょう。来年度は「一人でも多くの参加を」をテーマに元気で明るい緑鯨城会活動を期待しています。



# 総務委員会の活動を振り返って

総務委員長 32期 国際B 杉崎 四郎

R7年度の総会を終えて、R7年度の全会員総数205名でスタートする。

<総務委員会の主たる行事の活動>

## 1. 趣味の作品展 (11/1~11/2 緑区役所講堂)

出展数 206 点 (昨 188) 出展者数 115 名 (昨 111) と昨年を若干上回る事が出来た。当初、工芸、絵手紙、絞り等で出展数の減少見込みで有ったが、絵手紙、陶芸、絞り部門に、出展作品の増大を依頼した事と、今回初めて帆船工作の出展、はつらつクラブにも初出展依頼の効果が有った。今後、高齢者の出展辞退、若い期の出展数の少なさをどう克服して行くかの課題。

また新しい部門の出展を開拓して行くのも並行して課題。来場者人数について、まずは会員の来場増大を作品展前からアピールしたが、結果会員の半数弱に終わった。古い期会員の来場の少なさはともかく、若い期の会員の来場の少なさ、関心をどう高めるか課題となる。

出展者の皆さん、来場して頂いた皆さん、作品展に関わった全ての皆さんに感謝申し上げます。



## 2. 緑区民まつりブース出展

例年と変わらず開始から終了まで席は子供達で満杯で有った。子供達が作ったプラバンは300個弱で昨年を下回ったが、天候の悪さも影響カ。ブース出展としては満足の結果と考える。

## 3. 39期生、40期生地域M、39期生区会説明会

特にR8年緑鯉城会入会対象の39期生(学園2年生)の説明会に重点をおいた。

多くの39期生の皆さんの入会を期待したい。

※ R8年度の総会・アトラクションが4/24(金)徳重地区会館体育室で開催予定、準備を怠りなく、実施したい。

## 行事委員会この1年を振り返って

行事委員長 34期 地域B 竹中夏子

令和7年度は7月24日（木）名古屋港防災センター見学をしました。参加者24名。  
災害時に備えての応急対策を学びました。

10月15日（水）トヨタ産業技術記念館を見学。参加者15名。  
自動織機に始まり世界のトヨタ自動車の発展の歴史を学びました。

11月26日（水）名古屋市役所議会傍聴と庁舎内見学をしました。参加者33名。  
個人では見学が出来ない貴賓室はシャンデリアや扉の飾り金具など立派な調度品などが  
あり貴重な部屋となっていました。他に委員会室では現職の議員さんの話も聞けました。  
また重厚な造りの市役所内は数々の映画やドラマの撮影に使われました。

令和8年1月29日（木）は、ブラザーミュージアムを見学しました。参加者21名。  
75台以上のミシンが並ぶ様は圧巻です。ブラザー製品の数々の説明を聞きながら見学  
しました。大きなトラブルもなく、参加された皆様 ご協力ありがとうございました。



名古屋港防災センター



トヨタ産業技術記念館



名古屋市議会見学



ブラザーミュージアム

皆様のご参加に感謝します。

ボランティア委員長34期 地域B 鈴木 剛

緑鯨城会のボランティア活動の一大イベントは緑区内のほぼ中央部を流れる扇川遊歩道の清掃活動から始まります。深緑の6月、50名の会員が徳重、鴻仏目を起点に2班に分かれそれぞれ2.5キロの遊歩道を火バサミ、ゴミ袋を手にクリーンウォーキング。扇川のせせらぎ、鳥のさえずりに癒されながらささやかではありますが、街の美化活動に汗をかきました。

清掃活動は毎月、要池と新海池で実施しており、毎回10名ほどの会員が集まります。参加メンバーの方がやや固定化する傾向にありますので、時間の許す限り新しい会員の参加をお待ちしています。できる範囲で自発的に行うことこそボランティアの基本です。

そして年末には雑巾配布ボランティアです。1年にわたり収集した雑巾1100枚を緑区内施設29か所に寄付しました。各施設では恒例のクリスマスプレゼント？に大変喜ばれていました。タオル提供していただいた方、雑巾に仕立てていただいた方に心からお礼申し上げます。

最後に鯨城会全体で取り組む鶴舞公園・堀川清掃、名古屋ウィメンズマラソン沿道整備、そして心に悩みを持つ方に対し相談先が掲載された携帯用絆創膏を道行く人に配る「こころの絆創膏」キャンペーンに参加しました。このように昨年度は様々な活動を展開していますが、キーワードは

「私の街を住みやすく」「できることからコツコツと」ではないでしょうか。

来年度はもっと大きなボランティアの輪を目指して「初ボラ参加者」を歓迎したいと思います。



## 広報委員長として1年間

33期 園芸 亀井 恒夫

2回目の広報委員長を無事終了することができ、会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。  
ふれあいは例年どおり新年度のスタートとして7月号、趣味の作品展の作品を中心に紹介した12月号、1年を総括しての4月号と、3回/年、発行してまいりました。



昨年はホームページの運営が今までと変わりました、以前よりの緑区独自のホームページから鯉城会 16区と同様の鯉城会の中の緑区に1本化しました。以前に比べると同好会の記事の扱いが少し違いますがもう半年になりますので皆様も慣れたかと思えます。記事は基本的にイベントがあればその都度アップしていますが、閲覧数がなかなか伸びません。その日・その時までの閲覧数は緑鯉城会のホームページの最下段の右下に現れます。ちなみに毎日20~30くらいです。

緑区ホームページ最初に現れるのは「お知らせ」ですが、その隣に「カレンダー」があります。これをタップするとその月のカレンダーが現れ、行事等のイベントが表示されます。さらにその日をタップするとイベントの場所、時間が出てきます。

カレンダーのさらに横、「区会誌」は今まで発行された「ふれあい」を見ることができます。

ぜひ「カレンダー」・「区会誌」をご活用、ご覧ください。

### スマホ活用と情報共有&活動参加

機会あるたびにホームページの見方をご案内してきましたが最後にここでも紹介します。機種により細かなところは違いますが、未経験の方は一度挑戦してみてください。

- 1 スマホのカメラのボタンをタップしてカメラが映るようにします。
- 2 ふれあいの表紙の下のほうにあるQRコードを映して画面に「URL」とかが出たらそこをタップします。
- 3 緑鯉城会と出れば成功です。毎回QRコードでは面倒ですから「緑鯉城会」を、ホーム画面に登録してください。この操作は機種により異なりますので周りのお友達に教えてもらい行いましょう。
- 4 役員及び期別委員の方は、ホームページにアップされたお知らせ・活動実績等をライングループから（共有⇒転送）広く会員の皆様に案内をしてください。宜しく願いいたします。

# 名古屋ウィメンズマラソン2026

ボランティア委員 37期 福祉 後藤芳夫

2026年3月8日(日)に“マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2026”が開催されました。これは「名古屋ウィメンズマラソン」20,000人参加と「名古屋シティマラソン」13,000人参加そして「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン」若干名の人が参加して行われました。

当日は晴天でしたが風が強く大変寒い一日になりました。そんな中、緑鯨城会の有志30名がボランティアに参加し大会が成功裡に終わるお手伝いをする事ができました。実施場所は地下鉄桜通線「桜山駅」近くの昭和区Eブロック28区、29区合わせて約10キロの往路を担当しました。

朝8時5分現地に集合し、責任者の高野さんから実施要領、注意事項の説明、集合写真を撮ったあと、コース整理係とトイレ係とに分かれてそれぞれ準備し配置につきボランティア活動を実施しました。そして選手が通過するたびに招待選手のスピードに驚いたり、声援を送ったりと寒さの中でしたが、終了時刻の午後1時まで楽しい一日を過ごしました。また緑鯨城会の仲間同士会話も弾み親睦も図ることができました。

最後にまた来年もボランティアを楽しもうと声を掛け合って解散しました。

今回参加できなかった皆さん来年は是非一緒にマラソンボランティアを楽しみましょう。



## 新海池公園・要池公園清掃ボランティア活動便り

- ※ 緑鯨城会の皆様、公園清掃ボランティアに参加してみませんか
- ※ 参加の皆様も明るく元気で、30分程公園清掃ボランティアしています!!
- ※ 緑鯨城会皆様で、公園清掃ボランティアより一層盛り上げてみませんか!?
- ※ キョウヨウ（今日用）公園清掃があるから出かけよう！

### ① 新海池公園愛護会（緑土木事務所提出名）

清掃ボランティア日：第2日曜日9時半～10時（1月・8月お休み：雨天時翌週日曜日）

集合場所：新海池プレーパーク小屋前



### ② 要池公園愛護会（緑土木事務所提出名）

清掃ボランティア日：第4日曜日10時～10時半（1月・8月お休み：雨天時翌週日曜日）

集合場所：要池公園内トイレ前



※公園清掃ボランティアについての意見・要望・その他のお聞きになりたいことは下記に連絡ください。  
お待ちしております。

- ◆ 緑鯨城会ボランティア担当 後藤 芳夫 090-8320-5608
- ◆ 新海池公園担当 高野 孝 080-5162-3408
- ◆ 要池公園担当 山下 富和 090-7956-6041

## 喜ばれました！恒例の雑巾配布ボランティア

ボランティア委員会 34期 地域B 鈴木 剛

もはや年末恒例行事となりました雑巾配布ボランティア活動を12月24日に行いました。年間を通じて会員の皆様のご厚意により集まりました1100枚のタオル、雑巾を役員の手で仕分けします。緑区社会福祉協議会より感謝状を頂いたあと、区内29か所の老人施設などにお届けいたしました。その日は丁度クリスマスイブ。大きな袋を抱えたサンタクロースよろしくプレゼントをお渡ししました。「助かります」「毎年ありがとうございます」と快く受け取っていただきました。雑巾のミシン掛けなどでご協力をいただいた会員の皆様に改めて感謝申し上げますと共に、本年も素敵なプレゼントをお渡しできますようご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 心の絆創膏

ボランティア委員会

3月は、「自殺対策強化月間」です。今年も3/2（月）地下鉄「栄駅」構内と地上の2グループに分かれて17時30分～18時までの30分間「こころの絆創膏」の配布活動を行いました。緑鯪城会は、地上グループで5名が活動しました。「心に異変を感じた時には、一人で悩まずに早く専門家に相談し深刻なことにならないようにしよう」というもので、街頭に行く皆さんに絆創膏とシールを配布しました。今回は名古屋市の依頼を受け、16区の鯪城会が参加し、緑鯪城会からは、鈴木会長はじめ4人の皆さんに参加頂きました。



### 39期生（緑区在住）地域ミーティング、区会説明会開催!!

杉崎 四郎（32期 国際B）

昨年の11月28日、39期生（緑区在住）の第3回地域ミーティングが鯉城学園で開催されました。11/21に開催された①「地域活動学習発表会」の感想②地域活動・ボランティア活動に対するご自身の想いをテーマにして、4つのグループに分けてのグループ討論形式で実施。48名中31名の出席でした。グループ内では初めて話す人も多く、各グループに入った緑鯉城会の役員が討論の口火を切り、徐々に討論が活発になりました。出席の皆さん、普段からクラス、クラブ、その他のつきあい多く、忙しそうでした。緑鯉城会活動への説明の中で、特に同好会についての質問が多かった様に思います。それだけ、緑鯉城会と言う事より、同好会活動に関心を持っているかと感じました。後は、ボランティア活動に対する個人の考えでは否定的な意見は全く無く、どれだけ卒業後の忙しい中でボランティア活動に参加出来る余裕が出来るかなと思われている人も多いかと感じられました。最後に各グループ代表が討論のまとめを発表して終了となりました。



年が明け引き続いて、1月23日（金）に39期生（緑区在住）の区会説明会が鯉城学園で開催。46名中32名の出席でした。例年通り、鯉城ホールの中で緑区含め9区会が一斉に説明会を開始し、騒々しい状況で、例年の演技含めた同好会の人説明が今年は出来ず残念。各委員会の活動（特に同好会説明は強く）をいつも以上に声を張り上げて説明をしたが、どれくらいの人に理解を得たか。例年言われている様に、39期生にとって、関心を持って貰える様に、今のこの説明会の場所等を変えられないかと。とにかく、この区会説明会に出席した、また事情で欠席した緑区在住39期生の多くが緑鯉城会へ入会される事を期待します。（ふれあい95号が発刊される頃には入会者が決まっている）



高年大学 園芸学科のOB会で現在約230名で活動しております。

主な活動として

- ◆ 中川区にあります戸田川緑地での森づくり
  - ◆ 鶴舞公園花壇管理 名城公園の活動は昨年度より停止
  - ◆ 御岳休暇村ボランティア活動
- ◆ 戸田川緑地のなか、西の森づくりでは 森づくり講義補植、除草、下枝・枯れ枝落とし、間伐、虫害対策、森の中の道づくり、落ち葉溜まりづくり等を定期的に行っています。



伐採整備



散策路づくり

- ◆ 鶴舞公園 (中央噴水前の花壇4カ箇所) 年に3回花の植え替え 会員を15班に編成し1年間 班別に水やり、除草、施肥、鳥害対策、清掃等花壇の管理をしています



- ◆ 名古屋市民御岳休暇村での1泊2日のボランティア活動

除草、花苗の植え付け、散策路の手入れ、下枝落とし、キャンプファイヤーの薪作り、植栽管理等 春、秋入れ替えて行っています。



原木の運搬



# 温故知新：まち歩き 再発見！ありまつ



31期 生活A 奥野 幸泰

## 【17世紀：まちの誕生と絞りの始まり】

- ・1608年（慶長13年）有松の開村：尾張藩は東海道整備のため、鳴海宿と池鯉鮒宿の間の治安維持を目的に新しい集落（間宿：あいのしゅく）を作るべく、慶長13年諸役免除の特典を与えて入植者を募り、木綿の産地であった知多郡阿久比町から移住した8名によって開拓されました。
- ・1610年頃有松絞りの誕生：稲作に適さない土地だったため、開祖の一人竹田庄九郎らが、名古屋城築城工事にあたっていた、豊後（大分）の職人の豊後絞りと郷里の手織木綿とを結びつけ、手拭に「絞り染め」を施して、旅人相手に商いをしたことに始まると伝えられています。
- ・江戸後期東海道一の名産地へ：尾張藩の手厚い保護により、有松絞りは「東海道一の名産品」として名を馳せます。歌川広重の『東海道五十三次』にも、当時の活気ある様子が描かれています。

明治時代以降、時代の変遷と共に衰退の時期もありましたが、その後無形民俗文化財の山車行事継承、平成28年には重要伝統的建造物群保存地区に選定、令和元年には日本遺産に認定されるなど、往時の様子を現在に伝えながら、町の歴史的魅力を発信する様々なイベントが開催されています。

## ☆ 春のありまつさんぽ道「福よせ雛」有松東海道沿い一帯：R8年2/21（土）～3/22（日）

「福よせ雛」は、家庭での役割を終え、事情があって手放されることになった雛人形たちに「第二の人生」を歩んでもらおうというプロジェクトです。子供たちや大学生のユニークなメッセージも楽しめます。



## ☆ 有松まちなみ美術館（竹田家・旧山田薬局・有松郵便局・ATUMARI）：R8年2/27（金）～3/1（日）

東海道沿いの歴史的建造物を会場に、様々なアーティストや趣味の作品が展示されています。

各地（協力産地7県）で作られ続けている魅力的な作品は、一見の価値があり楽しむことができます。



## ☆ 有松史料調査保存会：第5回発表会（棚橋家住宅）：R8年3/12（木）～3/15（日）

有松絞を中心とした文化や、伝統を今に伝える歴史。時代の変遷を感じることができます。





## 俳句つれづれ（14）

30期文化A 平田 秀

最近、私は俳句を作るにしても楽しくないといけないと思うようになりました。楽しみながら俳句を作るのです。

以前は、俳句が趣味というものの、例えば俳句のカルチャー教室でお題に3句の提出に四苦八苦して義理のように作ってました。今でも基本姿勢としては変わっていませんが、作句の考え方において徐々にではありますが変わってきているように思います。

俳句は、5, 7, 5, の17文字という、言わば器は決まっています。その器に文字を選んで当てはめるのですが、そこに季語を盛込むという約束ごとがあるのです。その季語を選ぶ辞典といったものが歳時記です。この頃この歳時記に面白さを感じるようになってきました。日本には、四季があり、緩やかに推移し、私たちの生活や文化に大きな影響を与えています。例えば、日常の挨拶、手紙の書き出しなど季節感のある言葉は歳時記に多くあります。

地球温暖化によって四季は二季になったと言われますが、歳時記を手にとると四季と詩語を感じることができます。それと、以前にも触れましたが「写生」、「音調」などを17文字に組み込むのです。いろいろな約束ごとを正しく理解することで、作った一句に自分自身の有り様と重さを実感することができます。

例えば、

「寒鴉鳴きて心の闇動く」という句。(実はこの句はある新聞の年間賞に選ばれました)

季語は、寒鴉です。鴉は年中どっかにいますので冬とか寒とかをつけて冬の季語にするのです。鴉だけですと知恵者とか賢いとかずるいとかいうイメージですが、「寒鴉」というだけで、色彩の乏しい冬景色の中にある黒い姿が荒涼として寒々しいですね。なまじ知恵のある鳥だけに高所に止まってじっと人の様子をうかがっている様子は何か企んでいるようで思わずたじろぎます。そう思うとき、自分の心にたまっている何か、心のわだかまりといったものが明らかになってしまう。寒鴉の鳴きに自分の心さえも見透かされているのです。そしてそのことを知る自分にも厳しい目を向けているのです。今日よりはもっと真剣に自分の心の闇に向き合って生きていかねばと思うのです。句の自解を長々と書いたわけではなく、季語には季節感、連想感、詩語を表し、感動や発想の原点となり、原動力ともなるのです。上記のように鴉について鴉の持っているイメージから冬の鴉はどんな印象なのかと連想を膨らませることで、自身の持つ心象に繋げるのです。そのように考えますと、この句の措辞に対して季語はどうしても「寒鴉」でないといけないのです。いわば動かないのです。

私の句の作り方は、結構季語ありきから発想することが多く、それ故、季語の持つ意味を感じ取る作業が必要で、またその考える過程を楽しんでいると言えましょう。ただ、それだけに句全体が季語の説明になってしまうことも多々あります。(笑)

出欠連絡不要な、集合場所・時間に参集すれば自由に参加出来る気軽な同好会です。  
手軽に体力維持ができ、様々な地域の風物に触れることが出来るウォーキングを是非一緒に楽しみましょう。

## 報告！ ウォーキングしました ☺

25年11月30日（日） 港区を巡る 築地口から藤前干潟まで歩きました 19名参加



天候にも恵まれ快適なウォーキングでした。荒子川公園のフェニックスアイランドではカモメをたくさん見ることができました。神社、お寺もありました。日本独楽博物館なる昔の独楽、人形などを扱っているお店もありわりに変化にとんだ良いコースでした。約10Kmでした。

26年2月27日 常滑 やきもの散歩道を歩きました。 12名参加



歴史的遺産が残る迷路のようなやきもの散歩道を歩いてきました。大きな招き猫もありましたし、有名な土管坂では明治期の土管と昭和初期の焼酎瓶が壮観でした。

散歩道の中の食堂でランチを食べてきましたが昔のたたまいのお店でおいしいランチでした。

## これからのウォーキング案内

26年5月30日（土） 人形小路と鬼みち 高浜市

吉浜細工人形の「人形小路」と三州かわらの「鬼みち」を歩き、かわら美術館でランチします

集合時間・場所 9：00 名鉄神宮前駅 改札口

神宮前9：10 → 9：23 知立9：31 → 9：48 吉浜

距離 約5.4Km 3時間 レベル 1.0

持ち物：飲み物、雨具、敷物 など

コース 名鉄吉浜駅→人形小路おいでん横丁→春日神社・大山緑地→かわら美術館

ランチ→ここにこ鬼広場→名鉄高浜駅

交通費 神宮前→高浜 片道 630円（ランチ 1,900円予定・要事前予約）

26年6月30日（火） 竜吟の森・岐阜県瑞浪市

滝に癒される緑豊かな里山の竜吟の森を歩きます。

集合時間・場所 8：20 JR名古屋駅 中央改札口

名古屋8：34 → 9：47 釜戸 JR中央線

距離 約5Km 3時間 レベル 1.2

持ち物：弁当、飲み物、雨具、敷物 など

コース 釜戸駅→瑞浪市自然ふれあい館→七滝の小径→竜吟湖→

逆川の小径→せせらぎの小径→七滝の小径→ふれあい館→釜戸駅

交通費 名古屋→釜戸 片道 990円

気温により前倒し、中止も検討します。LINEでの案内になります。

毎回の  
注意事項

\*服装・持物\*：帽子・リュック・手袋・飲み物・雨具・敷物・保険証・(\*弁当)等

前日の天気予報で9時～15時までの降水確率が40%以上は中止です！

## 緑区地域福祉のつどい

### ボランティア委員会

3月3日 緑区役所 講堂に於いて「緑区地域福祉のつどい」が開催され、緑鯨城会も8名で受付 出入口 会場内での誘導 写真撮影 舞台での椅子 演台の移動、席の案内等を行いました。会場は13時の受付開始の1時間ほど前から列ができ始めて用意された席を急遽追加するほどでしたが最後は満員御礼で入れない方もおいででした。社会福祉協議会会長・緑区長のご挨拶のあと表彰式典、今回は緑鯨城会の関係者の表彰はありませんでした。その後 映画「90歳。何がめでたい」を90分上映しました。身近な問題のテーマでありたいへん面白く鑑賞いたしました。



### 編集後記

はるかむかし まだ現役のころ、年度末の2月 3月は何かと忙しかったが、鯨城時代からはそのようなこともなく過ごしてきましたが広報担当始めてより、「ふれあい 春号」の発行と鯨城会のイベント、役員人事が重なり特に今年は大変でしたがあともう少しです。パソコン、スマホの時代に広報誌？冊子？ですか、と時々言われますが私は何とかインターネットにアクセスできますが 33期の私より先輩の方々の中にはパソコン、スマホが苦手な方も昔に馴染んだ印刷された、いつでも見れる「本」としての広報誌は楽しみと言われたことがあります。今回も皆様のご協力によりお届けできそうです。会員の皆様ありがとうございました。

### 広報委員会

33期 亀井 恒夫 070-4377-1465 k\_thskt7571@qc.commufa.jp

37期 早川 美知子 090-4794-6596 hello\_h@mb.ccnw.ne.jp

25期 水谷 健二 090-2617-4782 nwjh2gla@gmail.com

29期 熊田 八郎 090-9918-9034 balangxiongtian@gmail.com

31期 奥野 幸泰 090-6093-0183 yukiAR1105@outlook.jp

25期水谷さん、29期熊田さん、31期奥野さんは広報サポーターとしてお願いしております。